

地域を理解し，郷土を愛する心を育む

世羅町立甲山小学校 校長：池岡 妙子

世羅町立せらひがし小学校 校長：延安 浩 【施設泊】世羅の宿ひがし

地域社会を担う人材育成を目指した合同実施

1 「山・海・島」体験活動を通じて育てたい児童の姿

甲山中学校区の甲山小学校とせらひがし小学校の2校で合同実施をすることで、中学に向けての人間関係の基盤となる関係づくりやお互いの良さを知って仲良くなることを目的としました。

また今年度からは、廃校になった学校をリノベーションした地元の宿泊施設を拠点とし、世羅町内の施設を活用した学習を展開することで、社会科・理科・総合的な学習の時間等での学習と関連を持たせ、世羅の自然や歴史、世羅の人々の生き方に触れるふるさと学習としての目的も持たせました。これらの学習を通して、ふるさと世羅を知り、世羅に貢献できるような児童に育てていきたいと考えています。

2 「山・海・島」体験活動の概要

(1) 目的

- 同じ中学校区の同級生と集団生活を行うことを通して、協力することの大切さを学び、仲間意識を高める。
- 世羅町内の自然や文化，人に触れ，郷土愛を育むとともに，体験活動を通して豊かな感受性を養う。
- 日常とは異なる環境での生活を体験することで役割意識を持ち，自立心や主体性を養う。
- 集団生活を行うことを通して，コミュニケーション能力を育てるとともに，体験活動を通して豊かな感受性を養う。

(2) 3泊4日の主な内容

	午前	午後	夜
1日目	2校合同，出会いの会	交流プログラム (レクリエーション)	星空観察
2日目	歴史学習・勾玉づくり	タラヨウのはがき作り 野外炊事(カレー作り)	スタンプ練習
3日目	早朝座禅(修善院) ランニング(世羅高) 梨狩り(大豊農園)	せら夢公園 (オリエンテーリング)	キャンプファイヤー
4日目	竹細工体験 (弓矢・水でっぽう作り) 活動のふり返り	解散式	

3 体験活動の指導の工夫

	体験活動当日	体験活動当日
	目指す中学生の姿を2校で共有化	地域資源の活用
ねらい	○同じ中学校に通うことになる2校の児童が、中学生になった時に円滑に人間関係を形成し学校生活をおくることができるよう、人間関係の基盤を形成する。	○世羅町内の資源を活用して体験活動をすることで、地域のよさに気付かせ郷土愛を育むとともに、地域に貢献しようとする心を養う。
活動内容	○学校の違う児童による班編成 ○プログラムごとのメンバーの再編成	○廃校になった学校をリノベーションした地域の宿泊施設への宿泊 ○地域の指導者を招聘した体験
指導のポイントや工夫	○3泊4日を通して、全員が相互に関わり合いをもてるような班編成にする。 ○体験活動の内容について、競争したり優劣をつけたりする内容ではなく、協働して目的を達成したり、生じる感情を共感したりできる内容にする。 ○体験活動後に、地域に貢献するために行っている活動について、児童同士が連絡を取り合いながらお互いの学びを共有できるようにする。	○地域を開拓しよさを見つけ支えてきた人々を活用することで、地域のよさを児童にわかりやすく語ってもらうことができる。 ○現在ある地域の姿がさまざまな人々の努力の結果であることに気付かせることで、自分も地域のために何ができるか考えさせるきっかけとする。 ○体験活動での学びを生かして、地域のために、花いっぱい運動やクリーン作戦を行う。 ○地域の自然や文化、人との関わりを通して、自分たちが暮らす地域の魅力を再発見させる。

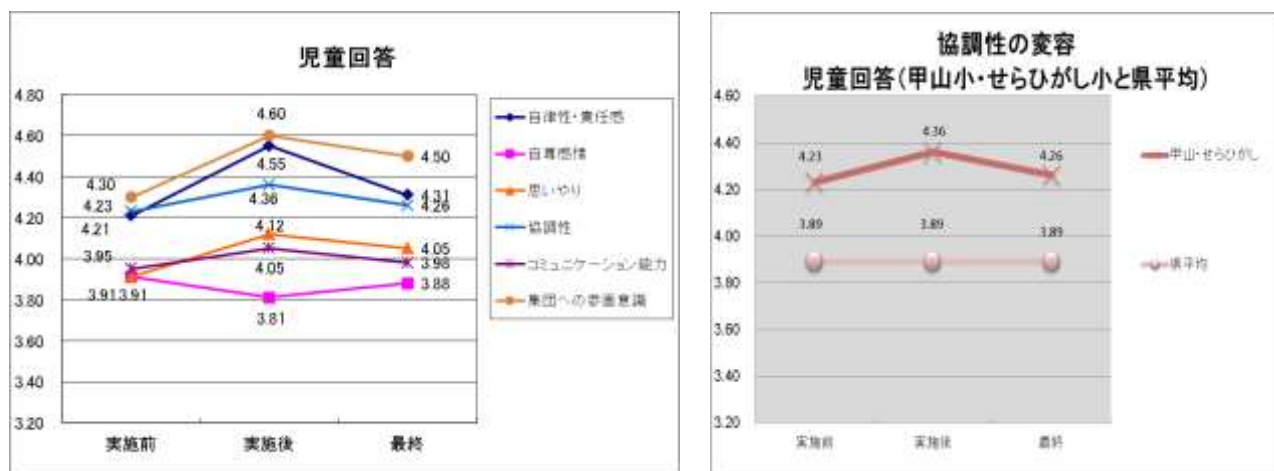
世羅子ども議会

世羅町の未来を担う中学生のふるさと学習（キャリア教育）の一環として、「議会の仕組みを学ぶ」「郷土を愛し、地域への関心を高める」「生徒の表現力の向上」を目的として行っている。町内の3中学校から生徒を代表し、中学生議員12名と議長1名の計13名が、観光、福祉・医療や教育等の行政施策についての質問を行う。



4 取組による成果

(1) データによる児童の変容



- 児童回答のアンケートが、県平均よりも高い数値となっています。特に協調性の項目において実施前に比べ直後の数値が高くなっています。

(2) 児童の感想

- ・ 私たちは同じ中学校へ行きます。この体験活動を通して、新たな友達ができました。はじめは、話すのがやっとで、手をつなぐこともはずかしかったのですが、一緒に活動することで、少しずつ相手のことが分かり、話をするできるようになりました。
- ・ 4日間一緒に過ごすことで、友達のよさをたくさん見つけることができました。仲良しの友達のできたので、これからも二つの学校でできることは一緒にやってみたいです。
- ・ 最終日、友達と別れるとき、とてもさみしい気持ちになりました。この4日間でもっとも仲良くなったので、もっと一緒にいたいなと思いました。
- ・ 体験活動の前は、「自分がすんでいる世羅のことなんて、よく知っているに決まっているじゃん。」と思っていました。だけど、この4日間で、初めて見ること、初めて聞くこと、初めて体験することがたくさんありました。どの経験も、ますます世羅が好きになり、自慢に思えるものばかりになりました。
- ・ 「クロカンロード」や「座禅」「大豊農園で食べた梨」は地域を愛する気持ちからたくさんの方がさまざまな工夫をして、作り上げてこられたものだと分かりました。どの方も、世羅をアピールするため、世羅をさらに住みやすい町にするために自分にできることを一生懸命取り組まれていました。
- ・ 世羅の宿ひがしのみなさんには大変お世話になりました。私たちが元気に過ごせるように、おいしいご飯を作ってくださいたり、困ったことがあったときにはすぐに助けてくださったりしました。とても心強かったです。世羅に来た人を温かく迎えてくださる優しさを感じました。